

渡辺よしお通信

第九号

100年に一度の危機に 苦しい家計を応援

見てわかる 生活者支援

高齢者医療の負担軽減
70～74歳の医療費窓口負担
→1割のまま
75歳からの長期医療保険料
→被扶養者対象の9割軽減を継続
→被保険者全員の年金収入が80万円以下の世帯で9割軽減へ

高齢夫婦の場合
20,000円
+20,000円
40,000円
うい
いね
助かるわ～

妊婦健診
14回分を無料化
計14回
程度必要ね
月1回
2週に1回
毎週1回
～6ヵ月 7ヵ月～9ヵ月 10ヵ月

若夫婦の場合
12,000円
+12,000円
24,000円
助かるわ～

出産育児一時金の拡充
35万円→42万円※
※3万円は出産事故に備える保険料

子育て応援特別手当(仮称)の支給
第2子以降の子ども
(02年4月2日～05年4月1日生まれ)
1人当たり年3万6000円

奨学金を拡充
貸与人数
有利子・無利子合わせて
前年度比 5.6万人増
入学資金貸与額
30万円→50万円

住宅ローン減税を過去最高水準に
最大 600万円
マイホーム
160万円
最大 600万円
※長期優良住宅。一般住宅の場合は最大500万円

自動車減税
重量税、取得税が...
ハイブリッド車など
低燃費車
→75%オフ
(新車購入時。すでに保有している場合は車検1回分の重量税を軽減)

住宅ローン減税を過去最高水準に
最大 600万円
マイホーム
160万円
最大 600万円
※長期優良住宅。一般住宅の場合は最大500万円

自動車減税
重量税、取得税が...
ハイブリッド車など
低燃費車
→75%オフ
(新車購入時。すでに保有している場合は車検1回分の重量税を軽減)

大型イラストで公明党の政策や実績などを解説する「見てわかる」シリーズ。第1回のテーマは、政府・与党が決めた総額5兆円の景気対策の重要な柱である生活者支援です。

100年に一度という未曾有の世界的な金融危機と世界同時不況の中で、国民生活を守り景気を下支えし、日本経済を立て直すことが重要です。そこで政府・与党は、すでに成立・執行している2008年度第1次補正予算、現在、国会で審議中の同第2次補正予算案、近く国会提出される09年度予算案および同税制改正案を、いわゆる「3段ロケット」として切れ目のない景気・経済対策を講じていきます。

このうち、特に「生活者支援」分野には、公明党の主張が大きく反映。家計を支援し消費を喚起する定額給付金、さまざまな出産・子育て支援策、環境に優しい自動車の普及を促す重量税・取得税の減免、過去最大規模の住宅ローン減税などが盛り込まれています。いずれも、景気動向に直結する施策であり、第2次補正予算案の早期成立とともに、09年度予算案などの年度内成立を目指しています。(イラスト・西山田)

定額給付金
1人当たり
12000円
18歳以下と
65歳以上は
+8000円

貯蓄に回す余裕
なんてないわ!※
※収入のうち貯蓄に回す割合は2.2%(07年度)
12,000円
12,000円
20,000円
+20,000円
64,000円

夫婦と子ども2人の場合

さらに!